

心の窓



校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和3年9月17日（金）

南関町立南関第四小学校 学校だより

No.20

文責：松永 尚子

4年生（道徳）の研究授業を行いました。

9月10日（金）に、4年生の学級で森川先生が道徳の研究授業を行いました。授業では、道徳の教科書の教材「いじりといじめ」を読んで、それぞれの考えを出し合いました。この学習のねらいは、「いじりといじめについて考え、いじりはいじめにつながることに気づき、誰に対しても分け隔てせず相手を大切にしようとする心情を育てる」ことです。

この授業の中で子どもたちから、「友だちのまちがいを笑ったのを、このお話では『いじり』と言っていたけど、これは『いじり』ではなく『いじめ』だと思う」「まちがった人を笑ってはいけない」「まちがったことを笑ったら、笑われた人は傷つく。本当は、いやだったんだ」などの意見が出されました。今日の授業の中で、「あ、自分もこんなことがあったな」「こんなとき、自分はどう行動しなくちゃいけないかな」など、しっかり考えることができました。



この日の放課後に、授業研究会を行いました。助言者の寺田先生から、「道徳の授業は、教材文などを通して、内容項目について自分の心で感じ、考え、みんなと議論していく中で、意識や考えが変わっていく。答えは自分の中にある。そこが、特別活動と人権教育との違い」というお話がありました。これからも、心に響く道徳の授業づくりを行っていきます。

オンライン授業の研修を行いました。

9月13日（月）の放課後、オンラインで授業をする際の進め方などについて、校内研修を行いました。今後の新型コロナウイルスの感染に備えておく必要があるからです。3年生以上については、夏休みに、タブレットの Teams でメッセージのやりとりは行っていました。いざ、授業を映したり、課題を送ったりとなるといろいろと難しいことがあります。研修でオンライン授業の仕方を学びました。



運動会の練習、頑張っています。

いよいよ、あと1週間で運動会です。子どもたちは、毎日、精一杯、練習や係の仕事などに取り組んでいます。コロナ対策をしながらの練習で、いろいろと制約はありますが、みんなで協力して頑張っています。何よりも、「自分たちで運動会を創り上げるんだ」という気持ちで一生懸命になっている姿が素晴らしいなあと感じています。先生方も、「大きな声で歌うのは、やっぱり飛沫が飛ぶだろうね。だったら、マスクをつけて小さな声で？それとも歌はやめたほうがいい？」とか、「テントの中ではマスクをつけるけど、当日、暑くなりそうだから、開閉会式は、マスクつけられないかな」など、意見を出し合いながら、コロナ禍における運動会を模索しているところです。主役は子どもたち。子どもたちの一生懸命な姿が、保護者の方々に伝わりますように。来週は、ちょっと暑くなりそうな予報が出ています。ご家庭におかれましては、体調管理、特に、栄養と睡眠をよろしく願いいたします。そして、本番当日、心からの熱い応援をよろしくお願いいたします。



運動会の係打ち合わせを行いました。

15日（水）に、児童会委員会活動で、運動会の係打ち合わせと準備を行いました。子どもたちはそれぞれの役割に一生懸命に取り組んでいました。運動会当日は、走ったり表現活動をしたりするだけでなく、自分の係でも頑張ります。

